

化学物質の内分泌かく乱作用に関するホームページについて

1. 背景・目的

化学物質に関する情報は、科学的に高度な内容を含むため、専門知識を有していない一般市民にとっては理解するのが困難な状況にある。また、化学物質の内分泌かく乱作用に関しては科学的に不明確な部分も多く、不十分な情報提供が時に混乱を招く可能性もあることから、内分泌かく乱作用も含めた化学物質に関する情報提供やリスクコミュニケーションのあり方・手法等について十分に検討した上で、情報提供を行う必要性が生じている。

EXTEND2010 の取組においては、引き続き適切な情報提供のあり方を検討しつつ、主に一般市民を対象に、ホームページによる化学物質の内分泌かく乱作用に関する正確で分かりやすい情報提供を進めているものである。

2. ホームページの構成

画面構成は以下のとおり。

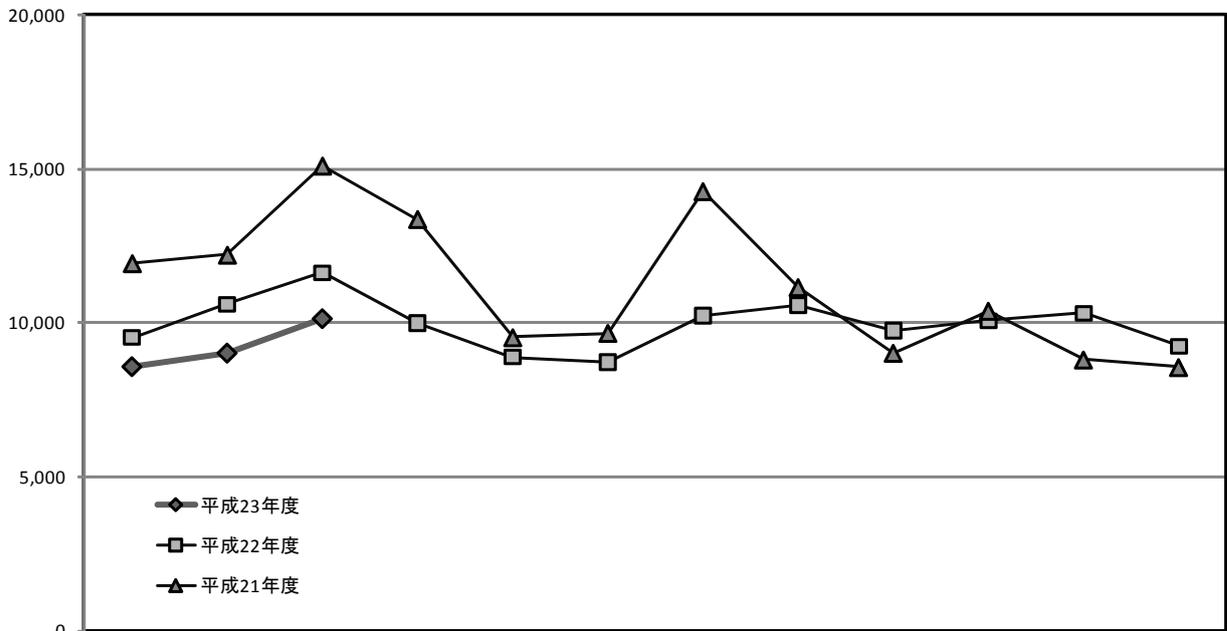
The screenshot shows the homepage of the 'Official Endocrine Disruption Website'. The page is in Japanese and features a navigation menu at the top with items like '内分泌かく乱作用とは' (What is Endocrine Disruption?), '公開セミナー' (Public Seminars), and '対談・コラム' (Interviews/Columns). The main content area includes a 'Topics' section with bullet points, a '関連ニュース' (Related News) section with a list of recent updates, and a '公開セミナー(新規)' (New Public Seminars) section. A callout box labeled '対談・コラム' points to the top right navigation menu. Another callout box labeled '公開セミナー(新規)' points to the seminar section. A callout box labeled '取組紹介' (Introduction to the Initiative) points to a section titled '環境省の取り組み (EXTEND2010) 他' (Environment Ministry's Initiative (EXTEND2010) etc.). A callout box labeled '関連ニュース (月 2 回更新)' (Related News (Updated twice a month)) points to the news section. A callout box labeled '内分泌かく乱作用とは' (What is Endocrine Disruption?) points to the top left navigation menu, with sub-callouts for '入門編' (Introductory) and '詳細編' (Detailed). A callout box labeled 'トピックス' (Topics) points to the 'Topics' section.

3. ホームページの運用・更新報告（平成21年4月～平成23年6月）

(1) ホームページのアクセス集計

アクセスログ情報を毎日収集し、アクセス数の解析を行った。結果は以下のとおり。

<グラフ：アクセス集計>



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成23年度	8,562	9,002	10,120									
平成22年度	9,504	10,585	11,621	9,970	8,862	8,705	10,213	10,555	9,728	10,048	10,302	9,225
平成21年度	11,919	12,195	15,090	13,356	9,512	9,653	14,260	11,142	9,007	10,373	8,788	8,541

年度毎集計	参照数
平成23年度 4月～6月（3ヶ月）	27,684
平成22年度	119,318
平成21年度	133,836
平成20年度	165,129
平成19年度	170,701
平成18年度（ホームページのリニューアル有）	232,133
平成17年度 7月～3月（9ヶ月）	158,816

(2) ホームページのコンテンツ運用について

ホームページコンテンツの追加更新を以下のとおり行った（平成21年10月以降）。

①関連ニュース

コンテンツ項目			対応内容
TOP			
関連ニュース			国内・海外ニュースから健康・化学物質に関連するニュースをピックアップし、毎月更新を行った（平成22年5月より月2回更新）。
平成21年 10月～12月	48件	国内：計29件 海外：計19件	
平成22年 1月～12月	158件	国内：計100件 海外：計58件	
平成23年 1月～6月	63件	国内：計41件 海外：計22件	
合計	269件	国内：合計170件 海外：合計99件	

②コラムの更新

平成22年3月24日「化学物質の内分泌かく乱作用に関する日英共同研究について」

（いであ株式会社 環境創造研究所 環境リスク研究センター 大西悠太氏）

平成22年3月24日「日米二国間協力事業でのOECDテストガイドライン化に向けた取組」

（(財)化学物質評価研究機構 安全性評価技術研究所 江藤千純氏）

平成22年4月7日「情報提供とリスクコミュニケーションの今後」

（主婦連合会 環境部長 有田芳子氏）

平成23年2月4日「EXTEND2010のスタートに際して」

（明治大学理工学部 教授 北野大氏）

平成23年3月1日「内分泌かく乱化学物質と私たちの暮らし」

（ジャーナリスト・環境カウンセラー 崎田裕子氏）

平成23年3月24日「化学物質の脅威」に対する一考」

（(社)日本化学工業協会 庄野文章氏）



③その他の更新状況

EXTEND2010 の策定に伴い、下記のページについて更新、新規掲載を行った。

- ・「化学物質の内分泌かく乱作用に関する今後の対応—EXTEND2010—」取組ページ
- ・「身近な野生生物の観察事業「生物多様性交流フェア」への出展報告について」
- ・「公開セミナー」紹介ページ



4. アクセス情報解析、ワード検索等の実施

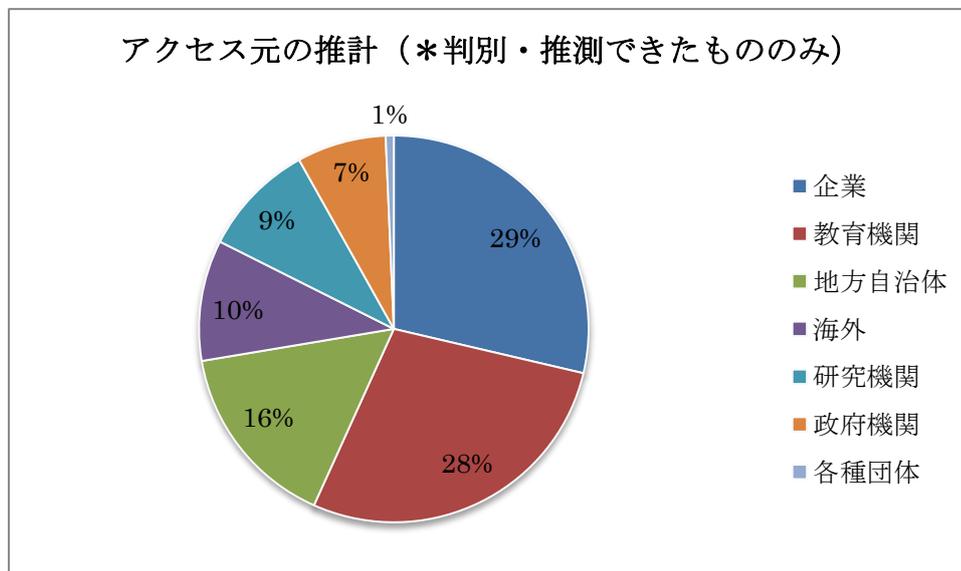
(1) ドメインからのアクセス解析の実施

①同サイトへのアクセス情報から、ユーザーの特性について検証することとし、アクセス者のドメイン情報より、判別可能なものについて大まかな属性の集計を行った。

(対象)：平成 21 年 10 月より平成 22 年 9 月までの期間

(方法)：属性については、ドメイン名から判別できたもののうち、先ず海外と国内をドメイン情報から判断し、国内については、さらに教育機関、研究所、地方自治体、研究機関等を判断し、集計を行った。

(結果)：総アクセス数 121,358 このうち、属性が判別できたもの **17,030**



②同サイトへのアクセス情報から、検索サイトからどのようなキーワードで訪問したかを検証することとし、検索語の抽出、検索数の集計を行った。

(対象)：平成21年10月より平成22年9月までの期間

(方法)：検索サイト経由でのアクセスの際にアクセス情報として記録される検索語を抽出・集計した

(結果)：同サイトへ訪問した際に用いられた検索語（上位20）については、以下のとおり。

	2009年10月～2010年9月	件数
1	内分泌かく乱物質	331
2	内分泌系 図	299
3	usepa	148
4	内分泌かく乱作用	103
5	チビコト	87
6	endocrine	84
7	内分泌攪乱物質	56
8	extend2005	41
9	内分泌攪乱物質	39
10	内分泌系	33
11	内分泌かく乱物質 被害	32
12	内分泌攪乱作用	31
13	内分泌器官	29
14	内分泌とは	28
15	内分泌系とは	26
16	中山エミリ	24
17	erα erβ	23
18	内分泌攪乱作用	17
19	化学物質の内分泌かく乱作用に関する情報提供サイト	15
20	環境ホルモン問題	13

- ・①の結果より、限定的ながらも得られた情報からは、企業の他、研究・学術機関からのアクセスが目立っている。
- ・その一方で、②の検索語からは、内分泌かく乱作用に関する基本的な情報を求めて同サイトへアクセスするユーザーが多いことが推測される。
- ・また、物質名について情報を求めているユーザーが多く、そのような観点で、分かり易くかつ誤解のない情報提供が求められていると考えられる。
- ・一般的に、より広く認知されている「環境ホルモン」というキーワードでの訪問が少ないことから、タイトルについて再考の必要がある。

(2) ワード検索による情報収集の実施

インターネット上での、化学物質の内分泌かく乱作用やその環境省の取組についての意見等を広く収集することを目的として、下記のワードによる検索を実施し、検索結果の表示順位が上位であったサイトに書かれている意見等について、内容を精査の上で集計し、利用者のニーズ、興味の動向などの把握に努めている（現在、集計・精査中である）。

※ 検索は、基本ワード（環境ホルモン、内分泌かく乱作用、内分泌かく乱物質、内分泌かく乱問題、化学物質）と付加ワード（影響、心配、危険、環境省、他）を組み合わせ、and 検索により実施（検索エンジンはGoogle 及び Yahoo! JAPAN を使用）。

5. 今後の予定について

ホームページによる情報提供の特性を活かしながら、今年度も引き続き各既存コンテンツの追加更新を予定している。

また、化学物質の内分泌かく乱作用に関する検討会における検討のほか、上記のアクセス解析やワード検索の内容等も精査した上で、ホームページの修正・追加更新等を行う予定である。その際、特に以下の内容について留意することとする。

- ・タイトルや冒頭の説明文に、「いわゆる環境ホルモン」という文言を付記。
- ・基本的な情報の充実（分かり易さに重点を置いた易しい解説ページ、物質名からの情報検索ページなど）。
- ・企業、研究・学術機関からのアクセスも一定数見られることから、専門家向けの情報についても充実を図る（研究成果、海外の取組等）。 等

(参考) 化学物質の内分泌かく乱作用に関する情報提供ホームページアクセス内訳 (上位35)

平成21年10月～平成23年6月

順位	ページ	参照数
1	化学物質の内分泌かく乱作用に関する情報提供サイト (トップページ)	51,719
2	対談・コラム	5,234
3	内分泌かく乱作用とは	4,796
4	資料集・リンク：専門家向けデータベース「カエルアトラス」	4,052
5	内分泌かく乱作用とは：入門編Q4「“内分泌かく乱作用”をもつ物質とは、たとえばどのようなもの？」	3,784
6	内分泌かく乱作用とは：詳細編「内分泌とは何か ～両生類の内分泌系～」	3,653
7	内分泌かく乱作用とは：入門編Q1「環境ホルモン」と「内分泌かく乱物質」と「内分泌かく乱作用」?	3,634
8	内分泌かく乱作用とは：入門編Q3「“内分泌かく乱作用”は いったい、どんな影響をもたらすのでしょうか？」	3,580
9	資料集・リンク	3,223
10	内分泌かく乱作用とは：入門編Q2「“内分泌かく乱作用”とは、いったいどんな作用なのでしょうか？」	3,176
11	内分泌かく乱作用とは：入門編Q5「“内分泌かく乱作用”への取組は、どんなことがおこなわれているのでしょうか？」	3,099
12	内分泌かく乱作用とは：詳細編「内分泌とは何か ～人(哺乳類)における内分泌系～」	3,058
13	取組紹介	2,792
14	内分泌かく乱作用とは：詳細編「内分泌とは何か ～魚類の内 分泌系～」	2,530
15	国際シンポジウム	1,835
16	コラム・エッセイ 「内分泌かく乱化学物質の科学的知見とリスク評価について」	1,588
17	内分泌かく乱作用とは：詳細編「内分泌とは何か ～無脊椎動物の内分泌系～」	1,528
18	内分泌かく乱作用とは：詳細編「内分泌かく乱とは何か ～受容体結合～」	1,513
19	対談・インタビュー「“環境ホルモン騒動”を検証する Part 1」	1,440
20	Official ED Website について	1,422
21	関連ニュース一覧	1,338
22	Official ED Website について：著作権・リンク	1,327
23	資料集・リンク：参考文献「チビコト」	1,301
24	Official ED Website について：アンケート	1,172
25	コラム・エッセイ さかなクントークショー「身近な生き物を観察しよう！～化学物質の影響や環境の変化から考える～」	1,153
26	コラム・エッセイ 「雌化・雄化と基礎研究」	1,131
27	Official ED Website について：サイトマップ	1,040
28	取組紹介：国際的な取組 米国環境保護庁(USEPA)の取り組み	1,022
29	対談・コラム「不思議なことば：『化学物質』」	1,018
30	取組紹介：環境省の取組 「化学物質の内分泌かく乱作用に関する環境省の今後の対応方針について－ExtEND 2005－」	1,003
31	Official ED Website について：プライバシーポリシー	1,001
32	資料集・リンク：リンク集	941
33	コラム・エッセイ 「情報提供とリスクコミュニケーションの今後」	863
34	コラム・エッセイ 「内分泌かく乱作用についての科学的理解の前進—疾病を予防する新たな機会の創出」	833
35	コラム・エッセイ 「化学物質の内分泌かく乱作用に関する日英共同研究について」	778

